

2019 年度沖縄県若年性認知症支援推進事業
本人家族交流会 若年性認知症カフェ 報告書

若年性認知症カフェ

目的：若年性認知症カフェ内で、ご本人と介護家族の交流を深め、孤立しやすい若年性認知症のご本人と介護家族のネットワークづくりを促す。

当カフェの特性

- ・ 孤立する県内の当事者及びその支援者にピアカウンセリングの場を提供する。
就労型活動自助グループの活動の場として提供し、当日初めて参加される当事者とその家族との交流を、自助グループの方に積極的に行っていただけるよう依頼している。
- ・ 経験と技能を活かす場をめざす。交流会の場も活動の場として提供し、それぞれの活躍の場を増やすよう支援する。例：ギターや英会話などそれぞれの特技を活かした教室の開催等
- ・ カフェ内で当事者の意見を活発に頂く。施策へ反映されるよう、意見をまとめる。

1. 日時：2020年2月15日(土) 13時～15時30分 会場 新オレンジサポート室(宜野湾市普天間1-9-3)

2. 本日のプログラム

13時～15時30分 会食・本人交流会

3. 当日の様子

参加者数 15人(内訳：当事者 4名、家族 7名、専門職 4名)

4. 様子

今回は初めて参加の当事者・家族の方が1組、1年以上前に参加されたご家族が1名、久しぶりで2回目に参加になる当事者・家族が1組いらっしゃいました。

会食をしながらの雑談で場が和み、笑い声が絶えませんでした。

その後、本人交流会での意見交換で当事者の方が「やっとうこうして来ることができ、皆さんと話す事が出来るようになりました」と感極まり涙ぐむ方、楽しみの場を見つけ日々充実した時間を過ごしていると報告してくださった方、かかりつけの病院についての情報交換、同じ病を持った当事者を支える家族の思い等、共有することで心が軽くなったり、友人として個別に連絡先を交換されている姿が印象的でした。

オレンジサポート室からは、活動の報告と広報誌の発刊の案内・画像の取り扱いの同意書についてお伝えし、当事者・家族の理解を頂くことが出来ました。

本人交流会が活発に行われていたため、今回は予定していた作品作業を行わず、交流会に比重をおき充実した時間を過ごして頂きました。



次回：2020年3月18日(土) 13時～15時

以上